

1971年 8月7日 第三種郵便物認可 (毎月6回 1の日・6の日発行)
1997年11月7日発行 SSKA増刊・通巻2918号

SSKA

ああるぴい

神奈川支部会報第5号

私たち自身で
治療法の確立と
生活の質の向上を目指す



JRPS 神奈川支部

神奈川県支部支援会員（順不同）

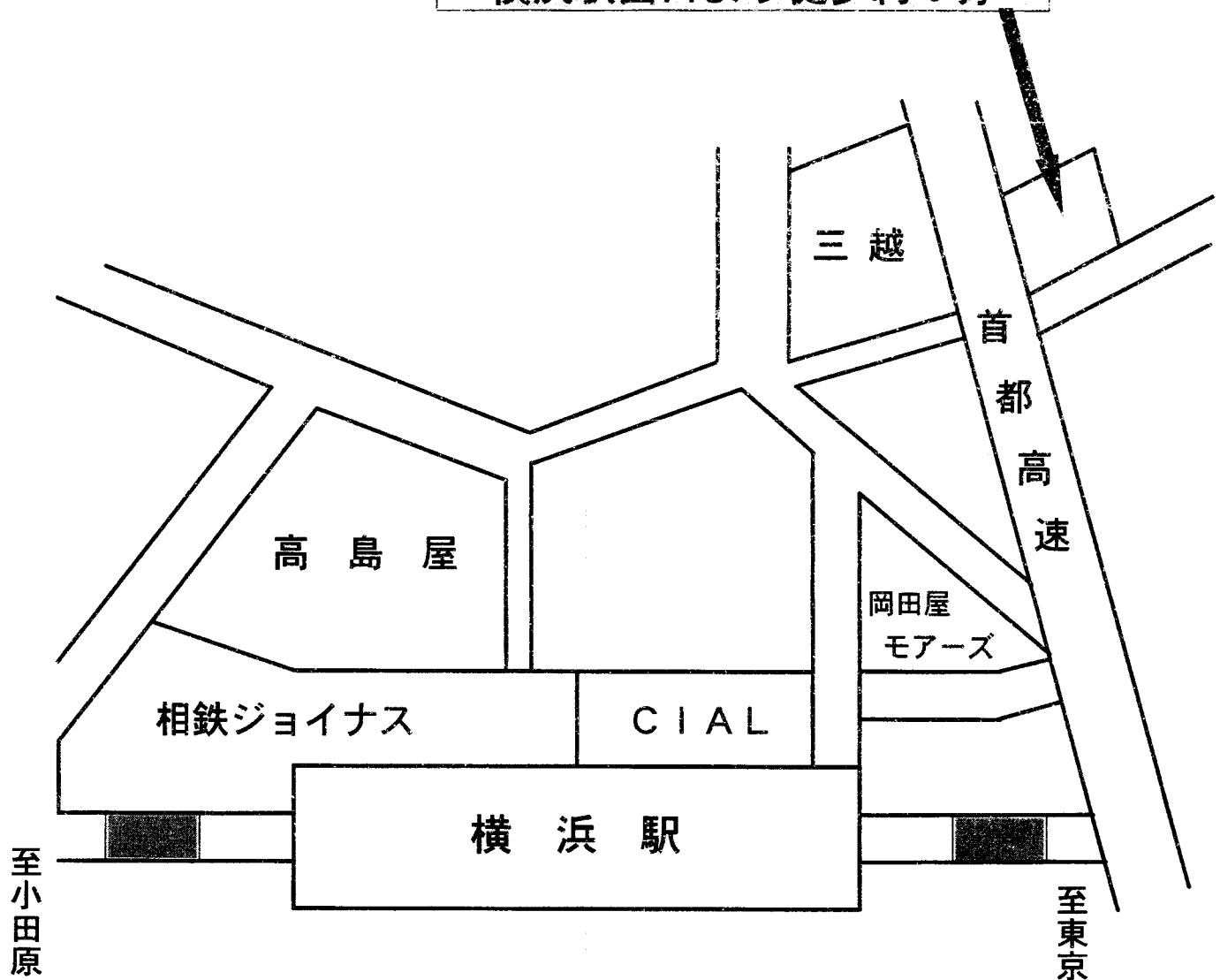
- ・（株）東栄エンジニアリング
- ・（株）ウイルマン
- ・（有）結伸工業
- ・英弘精機（株）
- ・高木 緑様
- ・木村邦雄様
- ・フォトプレシジョン（株）
- ・（株）ナカダ技研

☆ご支援に心より感謝いたします☆

神奈川県民サポートセンター

045-312-1121

横浜駅西口より徒歩約5分



— J R P S 神奈川の行事 —

● 第二回得々講座開催される

秋晴れの10月11日、J R P S 神奈川支部主催の得々講座が下記内容にて神奈川県民活動サポートセンター会議室に於いて開催されました。

- ・ 講演テーマ 「視覚障害者の教育と就労」
- ・ 講師 神崎好嘉さん（横浜市立盲学校教師）

テーマが我々患者にとって早晚直面する切実な関心事であり神奈川支部会員だけでなく、就学児の保護者や他支部の会員など幅広い層の参加者45名が集いました。

この分野の専門家であられる神崎先生は、用意されたレジメをもとに具体的ケースを交えて熱心に説明され、参加者も真剣に聞き入っていました。

その後、質疑応答の時間に入り「視覚障害児の進学は盲学校にすべきか普通学校にすべきか」「あはき師の訓練を受けたいと思っておりますが、どういう人（性格）が適しているのでしょうか」「ヘルスキーパーになるにはどんな学校でどんな教科を学べばいいのでしょうか」等々の質問に対して親切丁寧な回答があり、終了予定時刻を1時間もオーバーして成功裡に終了しました。

最後に、京都より参加された園近畿支部副部長より強力ペンライトの紹介とデモンストレーションがあり、その後懇親会に足を運ぶ頃には外は秋の夕闇が迫っていました。

森田祐吉（横浜市）

— 情報コーナー —

● 連載 よもやま情報（1）

今回から福祉制度的な情報はもちろん、日常生活に役立つちょっとした工夫から趣味、娯楽に到るまでの情報を少しずつ掲載いたします。まずは行政サイドの制度はある程度御存知の方もいらっしゃると思いますので、少し柔らかな分野から入ることにします。

◇ 百貨店・スーパーでの買い物

たいていの百貨店やスーパーでは「見えないので売場を案内してほしい」と申し出れば、誰かしら案内してくれます。申し出る所は案内所かサービスカウンターです。白杖を持っていた方がいいですが、まれに小さなスーパーで繁忙時には断られる場合もあるようですが、たいていはOKのはずです。案内所の場所さえ覚えてしまえば、いつでも一人で買い物に行くことができます。店内をよく知っている人が案内してくれるわけですから、家族やボランティアの人と行くよりもかえって目的のものが早く見つかったり、掘出し物を教えてくれたりと良いことがありますよ。

◇ クレジットカード

高島屋においての高島屋カード、そごうにおいてのそごうカードでの買い物は、視覚障害者はサインをしなくてもよい制度ができています。しかし他のクレジットカードではサインを求められますが見えていた経験があり文字を書いたことのある人だったら、サインくらいちょっとした工夫でできます。サインをする場所さえわかれば書けるのですから、カードで書く場所の下の線に合わせてもらいます。つまりカードの上のへりに沿ってその上に書くことになります。そうすれば書くガイドができていますから、あとは長年書き慣れた自分の名前ですからスラスラ書けるといわけです。

文字を書いた経験のない方や長い間書いていない方も少し練習すればすぐに書けるようになります。サインは漢字でなくても通用します。簡単な平仮名や片仮名でもよいのです。

「サインを書くための枠」が視覚障害者用具として売られてもいますが、ここに紹介した方法でも充分書けます。

◇ リーディングサービス

※電話をすれば折り返し電話で新聞の代読をしてくれます。

※辞書を引いてくれます。

※FAXで書類、手紙、カタログ等送れば代読してくれます。

プライバシー保護の為代読後直ちに処分します。

※サービス提供日・時間

月曜日～金曜日（祝・休日、新聞休刊日、年末年始は除く）

午前10時～午後3時

※一回の利用時間は20分程度にしてください。

※受付 電話 : 045-663-5656

FAX : 045-663-8080

NTTリーディングサービス横浜会

◇ 新郵便番号フリーダイヤルで案内

98年2月からスタートする7ケタの新郵便番号の問い合わせを99年1月まで無料で電話にて受け付けます。

受付は日曜を除く毎日午前9時から午後5時までで、年末年始（12月1月2月）は日曜も受付ます。繁忙機は1回に5件までとさせていただきますとのこと。

受付番号……0120-85-7552

◇ 障害者の人権110番

横浜弁護士会では障害者の日（12月9日）にちなみ、電話・FAXによる障害者の人権に関する無料法律相談を行います。障害者・家族の方々が抱えている様々な問題の御相談に応じてくれます。

日時：12月9日（火）午前10時～午後4時

電話：045-211-0781

FAX：045-211-0786

FAXで御相談の方は連絡先明記の上、時間内にお流し下さい。

この件に関する問い合わせは

弁護士会事務局（045-211-7707）迄

◇ ロービジョンクリニック開設!!

私たちが待ち望んだロービジョンクリニックが北里大学に開設されました。眼科医師、視能訓練士、ケースワーカーが一体となって私たちの残存視能を活用して、より良い日常生活を送る為の訓練・指導をしてくれます。今後の施設・設備の充実は、多くの患者が利用することにかかっていると思います。

場所：北里大学東病院

〒228 相模原市麻溝台2-2-1

TEL 0427-48-9111 (代表)

— J R P S 神奈川の活動 —

12月 6日 (土) ミニ集会

12月20日 (土) ボーリング大会

1998年

1月10日 (土) ミニ集会

1月13日 (火) 医療講演会・相談会

(厚木保健福祉事務所の主催です)

場所：厚木保健福祉事務所

時間：午前10時～12時 講演会

午後1時～3時 相談会

1月31日 (土) ～ 2月1日 (日)

合宿交流会

2月 7日 (土) ミニ集会

3月 7日 (土) ミニ集会

※ミニ集会は横浜駅西口・三越裏の神奈川県民活動サポートセンターで午後1時から開いています。

◇ 今年最後のミニ集会は忘年会!!

日時：12月6日(土) 午後1時～4時

場所：神奈川県民活動サポートセンター7階710号室

会費：2000円

◇ 第1回JRPS神奈川杯!! (ボーリング大会)

クリスマスも目の前のこの時期に、みなさんのハートを暖かくするビッグな企画!! 乞うご期待!

日時：12月20日(土)

場所：横浜ラポール

横浜市港北区鳥山町1752

TEL：045-475-2050

集合場所：新横浜駅構内みどりの窓口前 午後1時15分集合

会費：1000円

申込：阿部直之

TEL・FAX：04

E-mail：ave

.jp

◇ 日本網膜色素変性症協会 (JRPS神奈川支部)

合宿交流会のお知らせ

神奈川・山梨の会員の皆さんこんにちは!今年も慌ただしく一年が過ぎようとしています、日頃の疲れを吹き飛ばす企画を紹介します。神奈川・山梨の色変患者が石和温泉に集い、日頃のあかを落とそうというわけです。色変の知識を深め、又、患者相互の親睦を深め、神奈川と山梨の交流がさらに深まればと考えています。

日時：平成10年1月31日(土)～2月1日(日)

場所：山梨県石和温泉 かえで荘(山梨県立総合福祉センター)

山梨県八代郡石和町窪中島587番36

TEL：0552(62)3791

内容：講演会 講師 山梨医科大学 飯島裕幸助教授

「網膜色素変性症ってなあに!」

交流会・懇親会・モンデ酒造見学

定員：講演会：80名

宿泊：48名(山梨・神奈川を合わせて)

費用：山梨 講演会のみ(講演資料・会場費) 500円

宿泊希望者(宿泊・2月1日の昼食費)

8,000円

神奈川 10,000円(福祉バス借用で交通費無料)

※残金については、返金を致します。

申込：山梨

穂阪和宏

勤務先 山梨大学会計課

〒400 甲府市武田4-4-37

TEL：0552-20-8031

FAX：0552-20-8798

自宅 韮崎市藤井町駒井2648

TEL：0551-22-2754

神奈川

大窪 融

〒240 横浜市保土ヶ谷区

初音ヶ丘

TEL・FAX：04*****

●申込方法：上記にTEL又はFAXで申込下さい

●申込締切：平成9年12月21日

—行程—

1月31日(土) 8:00 横浜地区 横浜駅天理ビル前集合
9:00 湘南小田原地区 平塚駅南口集合
10:00 県央地区 本厚木駅前集合
13:00 石和温泉 かえで荘到着
13:30 講演会 山梨医科大学 飯島助教授
17:00 夕食・懇親会
2月1日(日) 8:00 朝食
9:30 出発
10:00 モンデ酒造 交流会・見学会
(ワインの試飲有り、お土産も買えます)
12:00 昼食 甲州路定食(ほうとう鍋)
13:00 出発
16:00 本厚木駅前 到着
17:00 平塚駅前 到着
18:00 横浜駅前 解散

◇ 合宿交流会を行なうにあたり、山梨の穂阪さんよりご挨拶をいただきました。

あいさつ

R Pの患者のみなさん、こんにちは山梨県在住の穂阪と申します。紙面の関係もあるでしょうから、手短に致します。私の身体障害者手帳は「2級、1種」となっていて、日常の生活も年々厳しくなり、顔では笑っているものの「これからどうなるのか？」との不安が頭の片隅から離れたことはありません。半年に一度、山梨医科大学の眼科で進行状況を診てもらう以外はR Pの話をする機会は全く無く、同じ患者と話す機会もありません。一体みなさんはどうしているのだろうか？

そんな寂しい気持ちでいたとき、神奈川支部から呼びかけがあり会報が送られて来たでは有りませんか。会報のなかには、皆さんの経験談、活躍ぶり、情報交換等々・・・読むにつれとても嬉しくなってきました。神奈川のみなさん、その中へ私も入れて頂きたいをお願いします。

今後の行事にどれだけ参加できるか判りませんが、来年1月末に山梨県石和温泉で開かれる「交流会」には地元の間人として皆さんのお越しをお待ちしております。

なお、山梨県在住の患者及びご家族の皆さんにお願いがあります。お互いに連絡を取り合い情報交換をしようではありませんか。連絡を待っています。

では、来年1月を楽しみにしています。

(穂阪和宏 韮崎市藤井町駒井2648番地
電話： 夜 0551-22-2754)

— 中村支部長、韓国を訪れる！ —

去る10月24日から27日迄、3泊4日の日程で韓国を訪問してきました。あえて旅行と言わず訪問としたのは、韓国の視覚障害者との交流を目的に企画された韓国行きで観光目的でないことを言いたかったのです。（実際は観光8割、交流2割は私だけかな？）

この企画をJRPSの友人から知らされ、参加してみようと思ったのは、①日本、韓国の有力企業が多数参画している②韓国の視覚障害者と（特にRPの人と）話してみたい③格安（6万円）で韓国観光旅行ができるからです。

参画企業は日本が三菱グループ7社、日産、松下、伊藤忠、日立、韓国が三星グループ、韓国産業銀行等7社にJALの後援という超豪華版！

私を4日間サポートして頂いたのは、間組の管理部長の新目さんです。金浦空港に着くと、2日間お世話になる王（オク）さん、金（キム）さん夫妻（韓国は夫婦別姓）に歓迎を受けました。昼食は早速本場の焼き肉を！ところが焼き肉が通じない！カルビで通じた。本場の骨付きカルビ 本当においしい。後早速観光！仁寺洞の骨董街を散策し李朝の家具、焼き物を鑑賞（これは新目さんの希望）夜はキムさんの手作りサンゲタン（鳥丸ごと料理・一人1羽）をほおぼりながら焼酎が進み、筆談をまじえた韓国語、日本語、英語もなんとか辞書の助けを借りて大成功！深夜2時お休みなさい。2日目早朝（6時）近くの大学構内の散歩、寒い！長袖シャツにセーター、厚手のジャンパー、東京の真冬並みです。朝食はわかめチャゲ（スープ）に朝から焼き肉、にんにく、キムチ e t s . .

私は韓国の視覚障害者・金さん（34才・男性）とペアーになり新目さん、王さん、金さんで昌慶宮（王宮）見学。花嫁・花婿の記念撮影がいっぱい。韓国では挙式の1週間前に記念撮影するのだそうです。金さんは延世大学工学部卒業後、大手企業の開発部門で設計を担当していましたが、RPがすすみ3年前に転職、現在はソウル視覚障害者福祉館の職員として、視覚障害者にパソコンを教えています。視力0.05ですが視野はかなり広いようです。カルビ

クッパ（これも通じた）を食べながら、病気の事、仕事の事2時間も話しました。（もちろん、全員が参加して筆談・通訳）金さんと住所やEメールNoを交換し、今後の情報交換を約束しました。韓国にはJ R P Sの様な組織もなく、キューバの手術はどうでしょう？等J R P Sの会員ならニュースレターでとっくに知っている事も情報が入らないそうです。早速「網膜色素変性症ってなあに」を韓国語に翻訳してもらい送ろうと思います。

その後、漢江の遊覧、南山タワーからのソウルの夜景、魚市場で夕食のひらめ（なんと1.5Kg生きている）を買う。

夕食はもちろん ひらめの刺し身 焼酎いっぱい！ 但し、サンチュウに刺し身、にんにくにとうがらしみそをのせ、まるめて食べる。美味しいか??!!?? 深酒して2時お休み。

3日目は朝からバスで登山に出かける。総勢135人、かなりきつい山登り、新目さんにサポートされながらもへとへと。だが頑張った。アイメイトだって元気に登った。但し私は交流どころではなかった。盲導犬（韓国では案内犬）訓練所の見学懇親会を終えてホテルへ。疲れた体にムチ打って新目さんと南大門市場を探検、ホテルで皆と合流、深夜迄乾杯！

翌日、王さん金さんに送られ金浦発成田着。解散

今度の旅でいろんな知人が出来た。神奈川支部に協力を約束してくれた筑波大学付属盲学校の岩屋さん、アイメイト協会の佐藤さん、韓国の新しい友人、協賛企業の人達、そして我儕な私を4日間サポートして頂いた新目さん有り難うございました。

中村善暁（茅ヶ崎市）

— 投 稿 —

あんなこと

内田 知（厚木市）

私がまだライトホームで生活していた頃の出来事である。小学校の下校時間と重なった時間に歩行訓練を受けていた時、私の前方から小学生の集団が近づいてきた。私とその集団がすれちがおうとするその瞬間、一人の男の子が私に「小父さん何しているの」と尋ねた。私は思わず「えっ！なんだ」と声をあげ立ち止まった。小学

生達は気にすることもなく私の前から去って行ったが、私は暫く動くことが出来なかった。どう見ても小学5、6年生の子供達だろう。白い杖を持った人間がどんな人間かわからない。(そんな馬鹿な)信じられない気持ちで一杯になってしまった私の気持ちを察した歩行訓練の指導員が私の肩を「ポン」と叩き「内田さん、あの子が悪いんじゃないよ、あの子はきっと白い杖を持った人間を初めて見たんだろう、だから内田さんが視覚障害者だということがわからなかったんだよ」と私に言いました。私は小学生を責めるつもりはないが、唯、今の教育って何を教えているんだろう?という疑問にぶつかってしまいました。

世の中には、色々な障害を持って生まれている人達がいるということを知っている子供達は、どうやって知るのだろうか?。街で障害者を見掛けたとき、大人達がめずらしそうな者を見るような冷たい視線に、嫌なことではあるが、1つの答えが見つかる様な気がする。

では物心ついた頃から自分の周りに視覚障害者が生活している子供は、いつ頃その相手が目の見えない人間だということを知ることができるのか?

私には妹がいて、妹には4才の勇氣と2才の元気という二人の男の子がいる。私にとっては甥っ子になるのだが、問題は4才になる勇氣である。まだまだ私が目が見えないということを知っていない為に、勇氣は私に悲しいのか、面白いのか、妙な気分させることを良くする。一番多いのは、買ってもらったおもちゃを私に見せるのである。おもちゃを持ってきて、私の前でカチャカチャいじりながら、一生懸命説明してくれるのだが、如何せん見えない私にはどう答えていいのかわからず、「すごいね」「かっこいいね」この2つしか言い様がないのである。

その状況を見ていた妹が、「勇氣、口でしゃべるだけでは、お兄ちゃんにはわからないから、触らせて上げなければダメだよ」、言われた勇氣は「わかった」と言って私にそのおもちゃを渡してくれるのだが、子供の事、一回や二回母親に言われた位ではすぐ忘れてしまうのであろう。何回となく母親である妹に怒られていました。

しかし、子供の成長というものは意外と早いもので持ってきたおもちゃを自分でいじりまわす前に、そのおもちゃがどんなおもちゃであるか説明して、すぐそのおもちゃを私に手渡す様になりました。

そして、日常で私の母や妹が私に細々と世話を焼く姿を見て、それを真似る様になりました。テーブルの上にあるコーヒーカップが何処にあるか、灰皿が何処にあるか、タバコが何処にあるか、口で説明するのではなく、私の手を取ってその品物のある場所を触らせる様になったのです。

—次号に続く—

J R P S 神奈川支部会報の点字版、テープ版を希望される方は神奈川支部事務局までご連絡下さい。

神奈川支部事務局：中村善暁

〒253 神奈川県茅ヶ崎市萩園1445-6

TEL. 04 **** * * * *

FAX. 04 **** * * * *

—◇編集後記◇—

街角にはクリスマスツリー、銀色のきらめき・・・。
あわただしい年の瀬が近づいてきました。社会人
になってから一年一年が早く過ぎ去っていくのを
実感します。だからこそ何気ない日々の生活も
大切にしていきたいと感じる今日この頃です。
編集部ではみなさんからの投稿をお待ちしていま
す。何か気付いたこと、感じたこと、役立つ情報
等ありましたらお便り下さい。

発行人：身体障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

編集：JRPS神奈川支部会報編集部
阿部直之

〒213 神奈川県川崎市高津区

TEL・FAX 04 *

E-mail av *

定価 200円